

令和6年5月15日（水）
岡谷市基本構想審議会

第1回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（17名）

有賀 利恵子委員、太田 博久委員、太田 深穂委員、笠原 康弘委員、木下 敏彦委員、
小池 修次委員、小林 妙子委員、薩摩 建委員、佐藤 一樹委員、高橋 章委員、
武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、西澤 賢委員、瀨 章義委員、藤森 すず子委員、
御子柴 健朗委員、横内 文雄委員

（※欠席者…中山 昇委員、新田 隆史委員 計 2名）

（事務局）

市長	早出 一真
副市長	藤澤 正
企画政策部長	岡本 典幸
企画課長	荻原 浩樹
企画課統括主幹	清水 亮
同主幹	芳沢 幸祐
同主査	藤森 大悟
同主事	小山 健介
地域創生推進課長	日岐 充利
地域創生推進課主幹	八幡 正剛
同主査	矢澤 祐輔

第1回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和6年5月15日（水）
午前10時00分～午前11時10分
市役所 9階 大会議室

1 開会

○市民憲章唱和

2 市長あいさつ

本日は大変お忙しいところ、岡谷市基本構想審議会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

皆様には、市政運営の基本的な指針であります、第5次岡谷市総合計画によるまちづくりに対しまして、多大なるお力添えを賜っておりますことに重ねて感謝を申し上げます。

また、昨年度は、第5次岡谷市総合計画後期基本計画の策定にあたりまして、非常にタイトなスケジュールの中、慎重かつ活発なご審議を賜りましたことにも感謝を申し上げます。

さて、令和6年度は、後期基本計画によるまちづくりの初年度となることから、すべての市民の皆様が主人公として輝くことができ、笑顔と元気があふれる岡谷市をめざすとともに、計画に掲げます将来都市像の実現をめざして、一步一步着実に、各種事業、各種施策を展開してまいります。

本日の会議は、今年度の主な取組内容についてご説明を申し上げます。

現在実施をしております施策や事業をより良いものにするために、委員の皆様には、豊富なご経験や優れたご見識に基づく、ご意見やご助言を賜りますようお願い申し上げ、開会のあいさつとさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

3 会長あいさつ

委員の皆様には、ご多用のところご出席をいただきましてありがとうございます。

昨年度、第5次岡谷市総合計画後期基本計画の審議にあたりましては、皆様本当に熱心に、厳しい日程の中でご参加いただきましてありがとうございました。

おかげをもちまして無事、答申にこぎつけることができました。改めて感謝を申し上げます。

本日から、計画の進捗管理を行うということでございます。

皆様に忌憚のないご意見を出していただき、市政振興のために尽くしていただきたいと思っていますので、よろしく願いします。

4 自己紹介

副会長（司会）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本年度新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様より自己紹介をお願いいたします。</p> <p>（委員・事務局 自己紹介）</p>
---------	--

5 会議事項

副会長（司会）	<p>それでは、これより会議事項に入ります。</p> <p>「岡谷市総合計画の策定に関する条例施行規則 第8条」では「審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」と規定されておりますので、ここからの進行は会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事を進行させていただきます。</p> <p>会議事項 令和6年度取組内容について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和6年度取組内容について</p> <p>資料：令和6年度取組内容について</p> <p>資料：令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金充当事業（地方創生推進タイプ）について</p> <p>（資料に基づき説明）</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>今日いただいた報告の中で、ほとんどの成果指標は次回報告があるということですが、令和5年の実績が出ればいいと思いながら聞いていた。まだ5月のこの時点では、そういう数字は集計ができないということか。</p>
事務局	<p>市役所の事情でいくと、令和5年度の決算もまだ打てていない状況である。</p> <p>事業の進捗状況についても、それと付随して、例年8月、9月頃にまとまるので、それを受けて、基本構想審議会では第2回で、前年度までの進捗状況を報告させていただき、委員の皆様のご意見をいただく形でやらせていただいている。</p>
委員	<p>それであればお願いします。計画の段階では、KPIが令和4年度に対する目標であった。令和4年度というのはまだコロナがある状況なので、この目標の数値が本当に適正なのかという判断が少しできにくい部分がある。</p> <p>したがって、もしできれば令和4年度の隣にはっきり令和5年度の実績を出していただきたい。そのトレンドを見て、目標の妥当性も確認していきたい。</p>
事務局	<p>前期基本計画については、令和元年度から令和5年度になる。</p> <p>ここで前期が終わって5年間の総括ということになるので、コロナ前の令和元年度、コロナ禍の令和2、3、4年度、そして令和5年度ということになり、コロナ禍を除けば、令和元年度との比較もできるし、コロナ禍</p>

<p>委員</p>	<p>後どのような回復状況なのかということも見る事ができる。</p> <p>資料7ページ、子ども・子育て支援の推進の成果指標で、①の今後も地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合について、この保護者の抱える子どもの年齢層、範囲というのを教えていただきたい。</p> <p>このアンケートについては、以前、審議会でも何人が対象だったか令和4年度には出ていたと思うが、失念したので、資料があれば何人に対してどんな回答だったかということをお願いしたいのと、それを毎年やられるのかということをお願いしたい。</p> <p>それと、30ページ、施策8-2観光の振興で、観光客数と出ているが、この観光客というのはどのように定義されているのか。日帰り観光も観光なのか。どうやってカウントしているのか。例えば、今やっているつつじ祭りですつつじを見る人が市内の人もいるし市外から来る人もいます。それを観光客とみなすのか。その辺のカウントの仕方、その根拠というのを教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>施策1-1子ども・子育て支援の推進の1つ目のKPI、今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合については、このKPIの表の下に*①ということで記載がある。アンケートの対象者については、3~4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診、それから3歳児健診ということで、この年代の保護者に対してアンケート調査を毎年行っている。</p> <p>また、その人数ということですが、今手元に資料がないため、また後日回答させていただきたい。</p> <p>【令和5年度第2回基本構想審議会の会議録より】 令和4年度アンケート依頼数：843 (問診項目となっているため、回答率は100%)</p> <p>観光客数については、このKPIの表の下に長野県観光地利用者統計調査とある。こちらの調査の対象が、岡谷市だと、鳥居平やまびこ公園と塩嶺御野立公園の2ヶ所の観光客数となっている。</p>
<p>委員</p>	<p>子育てしたいと思う保護者の割合に関するアンケート調査は毎年行うということだが、対象者が基本的に毎年変わっていくということになって、いわゆる毎年重複して回答される人もあるということになるわけか。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えば、1歳6ヶ月のお子さんをお持ちの保護者であれば、その年に回答をし、今度3歳児の健診がありますので、そこで再度回答するというような形になる。</p>
<p>委員</p>	<p>学校教育の推進ということで、いろんな政策、施策、給食費の関係など、いろいろやっていただいて非常にありがたい。</p> <p>PTAの中で、こういった市の施策を情報共有させていただき、伝達もあわせて行っていきたいと思っている。</p> <p>17ページに学校教育の推進ということで、学校満足度のKPIについて、これはお子さんに対してのアンケートということであるが、親御さんに対して、KPIの影響の部分でアンケートを取るような考えがあるかどうかということが1つ。</p> <p>あと21ページ、生涯学習の推進で、図書の貸出冊数のKPIがあり、下に*②ということで記載がある。先ほど、デジとしよ信州の授業もやられるということで書いてあったが、その辺の貸出冊数が含まれるのかということが2点目。</p>

	<p>最後にもう1つ。県の事業だと思うが、高校の再編に関する政策とまでは言えないけれど、市の立場というか、考え方みたいなものが、これまでの基本構想審議会等で出ているようであれば、これもPTAの役員等に伝達なり、情報共有していききたいと思うので、ご教示いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、学校の関係の保護者に対するアンケートということですが、こちらについては、学校によって違うのかもしれないが、学校評価アンケートというのが、保護者に対して出されている。その保護者のアンケート結果を、このKPIに反映するかというところについては、現在のところ考えていない。</p> <p>それから、図書の貸出冊数において、デジとしよ信州の貸出冊数をここに含めるかということについては、KPIの基準値になる令和4年度のところでそれを含めておらず、それを含めることになるとベースがずれてしまうと思っているので、そのあたりは生涯学習課、図書館の職員等とも話をしながら検討していきたい。</p>
<p>藤澤副市長</p>	<p>3点目の質問、県の高校の再編については、基本的に岡谷市の教育委員会は小学校、中学校を基本としてやっており、高校については、長野県の教育委員会がメインになるので、この部分については、再度、教育委員会に確認させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>デジとしよ信州の関係については、ここで新たに加えてもいいと思うので、また検討いただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>11ページ、避難行動要支援者個別登録申請率について、登録して増やすことは結構だが、実際の支援体制というのは本当に難しいと思う。</p> <p>どんな支援体制を構築しようと思っているのか、次回、担当の方からお聞きしたい。</p>
<p>藤澤副市長</p>	<p>避難行動要支援者の登録の申請について、どう支援体制を構築していくのかということは、なかなか難しい問題である。</p> <p>市で主にやっているのが危機管理室になる。そして、21区に自主防災組織というものがあり、そこで定期的に意見交換をさせていただいている。</p> <p>ただし、この部分は個人情報があるため、個人情報に配慮しながらやっていかなければならない。また、地域の方々等も率先して、こういった方々のところに訪問して、対応していただいている部分があるが、そのような問題があり、なかなか申請率が上がってこないというのが現状。</p> <p>こういった時代なので、プライバシー・個人情報というのは、一般的には適正な保護をしていかなければならない。そういった状況の中であるが、我々としては何とか申請率を上げていきたいという考えを持っている。</p> <p>区や各区の自主防災組織、また、地区社協等もあるので、そういった方々としっかりと連携をしながら、申請率の向上に向けて、努力をしていきたい。</p> <p>また、市が全員の方々を、すぐに支援できるかと言ったらなかなか難しいものであるので、社会福祉協議会等の社会福祉施設とも協議をさせていただきながら、一步一步努力してまいりたい。</p>

<p>会長</p>	<p>総体的には理解した。 現実的には、区に入られても、とても対応できない状況がある。 もともとのデータに支援者の欄があって、その欄が空欄で回ってくる。 それで、あとは区で対応と言われても困ってしまう部分がある。 いろいろ問題があるので、これからの支援体制の構築ということで十分配慮をしていただきたい。 民生委員や支援者の欄とかがあがるが、なかなか決めることができていないのが現実である。</p>
<p>藤澤副市長</p>	<p>承知した。岡谷市には、防災・減災条例というものがあり、隣組との支え合いというものが重要になってきていると思う。 いざという時、困った時には、隣の方々と声をかけながら、避難していただくといった部分もあるので、いろんな課題があるが、少しずつ一步一步、申請率の向上、また、支援体制についてしっかりと考えていきたいと思っているので、ご理解をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>2つ質問がある。1つ目が33ページ、施策9-1の就職説明会等への参加者数について、対象となる就職説明会というのは岡谷市単独ではなくて、諏訪広域とかそういったところも含んでいるのかということと、この数字自体はそれぞれの単年の数字でよろしかったか。 2つ目が55ページ、ふるさと寄附金促進事業について、最近でふるさと納税がどのぐらいの額が入っていて、こういった事業を通して、どのぐらいの額を目指しているのかということとを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>対象となる就職説明会について、具体的にこれとこれというように申し上げられないが、例えば、年末に行う企業研究会であったり、市が主催する説明会、そのほか市が加盟している労務対策協議会が主催するような説明会などといったものの積み上げになっており、あくまでも単年度の参加者数となっている。 ふるさと寄附金の関係は、今集計中で、令和5年度については、把握している中では9,000万円ぐらいを想定している。 ここで議会にも上げるが、3月までのものが入って額が決定するので、その時にまた細かい数字はお知らせしたい。 目標額は1億5,000万円としていたが、残念ながら、いろいろな情報等、まだまだPRというのが不足しているので、努力してまいりたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今回お示しいただいた事業を実施することによって、例えば、6年度の目標値としては、年間どのぐらいみたいなものはあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>6年度の目標値は、予算上、1億5,000万円を計上し、目標としている。</p>
<p>会長</p>	<p>7,500万円の事業費に対して、1億5,000万円の収入でよいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>もちろん多くの額を寄附していただくように努力をしていくが、ふるさと寄附金に関しては、岡谷市のいろいろな企業から提供いただいている製品を返礼品としているので、そういった都合等も配慮しながら、徐々に寄附額を上げていけるよう努力していきたい。</p>

会長	不思議に思うのは、国の指導で何割以上の御礼をしていけないとあるのに、その数字とあまりにも離れた数字と思われる。収入の半分を掛けても良いのか。
事務局	<p>いただいた寄附額の返戻率は3割でお返しをしておりますので、確かに差はあるが、これに対する事務手続等の歳出等もあるので、そういったものも考慮しながら、数字の目標を立てている。</p> <p>ふるさと納税の関係は、総務省で寄附額の半分の経費以上は掛けてはいけないという通達が出ている。</p> <p>その中で、今回予算計上させていただいた7,500万円は先ほど申し上げたとおり、返礼品関係の経費、それから事務に要する経費もすべて含めて、半分以上を超えない最大50%の経費を見積もったということである。</p>
会長	<p>ほかにかがでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>それでは、以上で会議事項の全部を終了いたします。 円滑な議事進行に協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
副会長 (司会)	<p>会長ありがとうございました。 それでは、最後に事務局から連絡事項等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>次回以降の会議の予定について連絡です。 お手元に「令和6年度 岡谷市基本構想審議会 日程について」という1枚ものをご覧ください。 第2回審議会を8月21日(水)10時から、本日と同じ9階大会議室で、内容は「令和5年度までの進捗状況」として開催を予定している。今から予定をお願いしたい。 また、委員皆様の任期は今年の8月23日までとなっており、今年度は委員改選の年である。皆様を推薦している各団体には、7月中には委員の推薦をお願いしたいと考えているが、現在の委員を継続して推薦していただいても構わない。 一般公募につきましても7月中に公募を予定している。 委員改選後の8月28日(水)10時には、委嘱書交付および正副会長の選出を予定している。継続委員はその後お帰りいただき、新任委員は、本審議会および第5次岡谷市総合計画などについての勉強会を予定している。</p>
副会長 (司会)	<p>ありがとうございました。 それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。</p>
副会長	<p>それでは以上をもちまして、令和6年度第1回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、大変お疲れ様でした。</p>